



太田小学校だより

令和6年4月8日



令和6年度もよろしくお願いいたします

ふれあいの庭では、2月頃から蠟梅（ロウバイ）の花が咲き始め、満作（マンサク）、杏（アンズ）と続きました。現在は桜（サクラ）とともに、新2年生が1年生のころから育ててくれていたチューリップが太田小学校の子どもたちを出迎えてくれました。新しい学年、新しい学級となり、緊張した表情で過ごしている子どもも見られましたが、今日からの学校生活で話したり一緒に活動したりすることを通して、友だちのつながりを増やし、充実した生活を送ってほしいことを願っています。



保護者の皆様、お子様のご進級、誠におめでとうございます。4月から転入生17名を迎え、新しい太田小学校が動き出します。11日には110名の新入生を迎えて全校生が揃う予定です。

私たち教職員も新たに11名が転入・採用となりました。全校児童は、以下のような構成となり、私ども教職員一同気持ちを引き締めて連携し、一人一人に関わる決意を新たにしています。子どもたちの成長とともに、私たち自身も充実する1年にしたいと思いますので、本年度も、本校の教育活動に対するご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

学年	1	2	3	4	5	6	特別支援	合計
児童数	102	109	104	126	113	127	45	726
学級数	3	4	3	4	4	4	7	29

太田小学校のスローガンは「思いあふれる高めあおう」です。お互いに相手のことを大切に思ったり応援したりしてつながりを強くするとともに、一緒に学んだり活動したりすることを通して刺激しあひ、時には競いあつてお互いの力を高めていこうとすることと考えています。これは、同学年の子ども同士の関係だけでなく、異学年が思いあつたり高めあつたりする関係が考えられます。

例えば入学当初の1年生は、6年生から教えてもらったり、自分ではできないことを代わりにしてもらったりすることが多く、「お世話する側」と「される側」が固定しているように見えることがあります。しかし、入学式での支援や給食の世話、校外学習での活動等を通して、1年生から「ありがとう」と伝えて6年生が嬉しい気持ちになったり、同学年の中では活躍しきれていないように見える6年生が、1年生といるときはしっかりしていたりして、1年生との活動が6年生を高めることにつながっていると感じることもあります。

全校生で取り組んでいるハッピー活動では、住んでいる地域ごとに6年生から1年生までが同じグループとなって、クイズをしたりゲームをしたりします。ハッピー活動の進行や準備などは主に上級生が行いますが、上の学年から下の学年への一方通行ではなく、いろいろな学年の子どもたちの関係の中で、下級生が得意なことを上級生に教えたり、上級生が困っているときに下級生が心配して「大丈夫？」と声をかけたりする関係が見られます。これは、6学年分の違いがある子どもたちが集団で生活する小学校のよさの一つだと思います。

思いが十分に伝わらなかったり、高めあう関係になりにくいときは、学校では私たち教員が、ご家庭では保護者の皆様が、話を聞いたりアドバイスをしたりすることで、子どもたちは安心して思いあふれる高めあうことができると思います。今年度も、保護者の皆様には、学校のサポーターとして、太田小学校の子どもたちや学校の教育活動に対して、ご支援やご協力をいただきますようお願いいたします。

(校長 榎(かや)貴志)